

グループホーム ジョイフル小路

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当事業所の理念に基づき利用者個々の生活スタイルにあわせ、その人らしくふつうの暮らしが出来るよう心掛けています。	理念の精神は「その人らしさの保持」「尊厳の保持」「家庭環境の中での生きがいのある暮らし」に要約される。文言は玄関とリビングに掲示している。職員には再認識を、家族、利用者、訪問者にはその支援方針の表明をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のリフレ大会や学園祭などに参加しているが日常的とは言えない。	自治会に加入して地域の行事に参加するなど協力関係の推進を図るようにしている。	地域の中でのGHとして相互理解と協力が求められます。これからもこの点を課題とされ、地域との関わりを模索されて行かれるよう望まれます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	発信できていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での意見・要望をご家族や地域の方より頂き、よりいい施設になるよう活かしている。	事業所管理関係者、家族、包括支援センターが参加し直近の基本方針が話し合われる。年六回の内、2月6月10月は集会を開き、他の会は書面にて通達している。	推進会議の参加者の充実化が求められます。例えば自治会、町内会、敬老会、認知症の知見者、市の高齢福祉関係職員、などからお願いされては如何でしょう。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる	積極的な連携は図れていないが、事業所では解決できない事などは相談している	事業所だけでは解決できない事柄について市に直接相談を求めたりしている。特に生保者の処遇についての助言は必要なものである。市との密な関係はこれからも維持していくよう努めている。	¥///
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束には日々職員間で話し合いを行なっています。玄関の施錠については、ご家族・包括と1年かけて議論しました。自宅も施錠をするというあたりまえの行為なので、利用者の自宅を施錠するという安全を取るようになりました。	身体拘束のない介助支援を実現させている。この点については重要事項説明書、運営規程にも明記しており徹底した取り組みをしている。施錠については、第三者の意見も十分に踏まえた上で、防犯、利用者自身の安全、が何よりも大切であるという認識で家族と合意されている。	利用者が望めば職員と一緒に外気浴や買い物時の外出もできるという自由がある。これからの利用者の身の安全確保の上、外出されて行かれるようお願いしたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	知らず知らずのうちに話したり声をかけたりしていることがスピーチロックになりうることを、職員間で認識し、お互い注意し合えるような関係作りを構築しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	あんしんサポート事業を利用し情報共有しています。また後見制度も行政に関きにくくなどして理解を深める努力をしています		

9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に説明し納得されてから、契約を結んでいます。</p>		
10	<p>6</p> <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会にこられた時には、利用者の様子をお伝えし話す時間を設けている。</p>	<p>家族が来訪された時はよく話合われている。運営に関する事はあまり話題にされないが参考になる事は反映できるように努めている。あまり来られない家族にはLINEや電話などで近況を知らせている。</p>	
11	<p>7</p> <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一度、職員間で会議を開催し提案や意見を聞きそれらを運営に反映させている。</p>	<p>職員の意見や要望は月一回のスタッフ会議で提案されている。職員の意見は、彼らが毎日利用者の支援や介護に直接関わっている事から、迅速な反映に努めている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の努力、実績などを考慮し色々な形で反映し皆がやりがいを持って働ける環境作りを心掛けておられる</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員のスキルアップや自己研鑽については全面的にバックアップしてくださる</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>GH連絡会、地域の勉強会などへ参加し情報交換などしている。また他施設へ見学に行かせていただいている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人はもちろんご家族とも連絡を取り合い情報収集することでご家族・ご本人のニーズにお答えできる体制作りを目指しています。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所初期はご本人・ご家族共に何らかの心配がおります。より関わりを多く持つことで不安感の解消につながり関係性も構築されると思いい初期の段階ではより関係作りに努めています		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人にとって今何が一番必要かなどご家族とお話し、必要に応じたサービスを案内しご本人やご家族に選択してもらえ環境を心がけています		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活を共にして行く中で自然と家族に近い存在になっています。		
19	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にしか出来ない支援も多々あります。また介護食の私たちにしか出来ない支援もあると思っています。ご家族と協力しながらご利用者のサポートが出来るよう心掛けています。		
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の今までの暮らしが、ホームに入居しても可能な限り継続できるように支援している	利用者には要介護や要支援の方が多く、今や職員が親しい人であり友人であったりしている。中にはゲームセンターを希望した方もいて車で遊びに行ったりもした。事業所は可能な限り利用者の希望に添うように努めている。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活を共にしていく中で多少のトラブルも生じる場面があります。その場に応じて対応し関係性が悪くならないよう配慮しています		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	出来る限りの相談や支援はさせていただきます		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の意思を伝えることが出来る方は尊重させていただきますが、伝えることが出来ない方、家族の居られない方に関しては本人の立場に立って又自分の親ならと置き換え皆で話し合い検討しています	自己表現が旨くできない利用者は不満や抑圧が募っています。管理者や職員は利用者の立場に立って物事を考えるパーソンセントードケアを実施されている。この方針が利用者の意向を汲み取っているようである。	認知症になられると記憶力は減衰しますが、その方の感性は失われる事はありません。これからもパーソンセントードケアを実施され本人の意向を汲まれるようお願いしたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報収集に努め入居に至った経緯など把握することでその方の背景を知ることができサービスを提供する上で、必要な情報である		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間で話し合い共有できる場を設けている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族・職員と情報を共有し、現在のご本人にあった計画を作成している。	管理者は職員、ケアマネ、担当医、等の意見を聞き総合的に介護計画の作成に当たっている。家族に見てもらった事で見直しも可能である。計画期間は6か月とするも利用者の健康状態によって見直しもされる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の重要性は常に職員にも伝達している。記録することで職員で共有し計画に反映することが出来る		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	型にはまらず、可能な限り本人のニーズに応えられるよう心掛けている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	心身共にその方の暮らしが、よりよいものになるよう心掛けている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族と話し合い同意のもと協力医で受診。また協力医で診療科がない場合など他医療機関に円滑に受診できるように支援している	医療提携機関として東和病院(協力医)の診察を受けてもらう事で理解を得ている。当病院は24時間対応であり入院施設も整っている。歯科の協力医はオリブ歯科である。又、東和病院にない専門科については他の医療機関を利用している。	

31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	来られる医療スタッフはほぼ決まっている為関係性ができている。また医療との窓口も一つに決めているためモレもなく情報共有できている		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した際は極力入院日数が少なく早期に退院できるよう主治医に依頼している		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族の意向に添えるよう日々の話の中から汲み取ったりご家族からの希望等お聞きしている。	家族には入所時に十分な話し合いをしている。先々の体調の変化についてはその都度話されるようにし、事業所で可能な限り要望に応えるようにしている。	従来通り充分に話し合わせられ齟齬のないようして下さい。特に事業所で出来る事、できない事を明確にされるのが大切です。これからもこの方針を堅持されて下さい。
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応など定期的に学ぶ機会を設けている。		
35	13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消火・非難訓練実施。また避難場所等災害があらかじめ解っている時には地域の方が避難場所等連絡しに来てくださる。	年二回の避難訓練を実施している。主に火災、地震時を想定している。防災設備として自動火災報知機、煙感知器、誘導灯、スプリンクラー等を設置している。	地域の協力で避難場所の連絡がされているという事ですが、出来ればその場所の定着化をされるよう交渉させて頂きたい。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格や生活歴を尊重している。デリケートな場面では特にプライバシーの配慮を心掛けている	職員は、支援の仕方や介助の仕方についてよく熟知されているし、指導も行き届いている。排泄時には特に自尊心を傷つけないよう配慮されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どの場面においてもご自身で決めていただけるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	少人数だからこそ出来る、その人のペースにあわせた支援をおこなっている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なかなか一般の美容室に行くのが難しいため移動美容室に来てもらい雰囲気を楽しんでいる		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの残存能力をよく把握した上で食事の用意の一部を手伝ってもらったりしている。	食事は給食業者の用意したものを調達し配膳している。利用者の反応は「美味しかった」であり満足されている。月に一回はお好み焼き、手作りラーメンなどを出している。おやつ時にはタコ焼き、コーヒーゼリーも出されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	医療にも相談しながら個々にあった食事形態でおいしく食べていただけるよう工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの徹底週1回歯科スタッフによる診察や口腔ケアをおこなっている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々に合わせた支援を行なっている	要介護、要支援の方も多い為、効果的な自立支援を旨とするよりも、時間がきたら声掛けしたり、便座まで誘導するなど少しでも排泄時の援助をするよう心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	無理のない範囲で朝食後トイレでの排便を試みている。その他、腹部マッサージやホットパックなど実施している		

45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望に応じて支援している	週2回、入浴している。洗髪、着替え、湯の入れ替えは毎回実施している。入浴を拒む利用者には何度でも頼み込む方法を使っている。リフト式の機械浴槽であるので利用者も楽に湯舟に入れる事ができる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペースや生活スタイルに応じて日中夜間問わず支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療からの情報も有り変更等あった場合などは特に注意をはかり必要に応じてバイタル測定など実施し医療へ報告出来るよう記録にも残している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別に対応することが多い		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	喫茶店や買い物など個々に対応している	日常的には近くの喫茶店やスーパーマーケットなどに買い物に出かけている。行く人はだいたい決まっているようである。桜見物には造幣局の通り抜けに行く事もある。	外出をあまり好まれない利用者もいると思われるが、何度か声掛けをされ、出来るだけ外気浴の楽しさを味わわせて頂きたい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個別に対応している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば支援可能である		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて工夫している。飾りつけなどレクリエーションの一環としておこなっている	リビングの照明は全体的に穏やかで際立った音もない。壁紙も新しく貼り直され、気持ちよく過ごせる共有空間が出来上がっている。。これから夏にかけて季節を感じさせる装飾もされるとの事である。	

53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>構造上むずかしい面もあるが気の合う方同士でカラオケなど楽しめるなど出来る限りの工夫はしている</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅より馴染みの物を持参され安心して生活できるよう配慮している</p>	<p>居室には使い慣れた家具やお気に入りのカーテン、置物が設置されている。適宜シーツ交換もされ、部屋の清掃も行き届いている。 利用者は自分の部屋で落ち着いて生活している。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々にあわせ自立・自律を目標に生活できるよう配慮しています</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	①	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	①	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	②	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	②	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	③	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30, 31)	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9, 10, 19)	①	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目：9, 10, 19)		①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)</p>	②	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)</p>	②	<p>①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p>	②	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p>	②	<p>①ほぼ全ての家族等が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない</p>